



有限会社 吉田工業

vol.3

2023年3月15日発行





取締役常務

## AKIYAMA MASAHIRO 秋山 正弘

取締役常務となった今も現場で精力的な活躍を見せている秋山正弘さん。有限会社吉田工業へ1992年（平成4年）に入社して以降、長年会社を支え続けています。これまでの経験や、仕事のこだわりなどについて伺いました。

### 入社の経緯を教えてください。

社長から声をかけられたのがきっかけです。社長とは幼馴染みで、小学校からのつき合い。中学生の頃には会社の話や機会がよくありました。そうした経緯もあり、私が17歳の頃就職先を探していると、社長が「うちの会社に入れればいい」といつてくれたのです。もともとバイクや車をいじるのが好きで、機械に触れる仕事は面白そうだと感じ、入社を決めました。

入った当初は現場にいつでもはじめて目にするものばかり。覚えることは山のようにありましたが、機械に携われるのが嬉しく、楽しい日々でした。当時、社員は10人程度。今は人が増えて会

社も変わりましたが、現場の楽しい雰囲気は変わっていません。

### これまで働いてきて最も印象的な出来事についてお聞かせください。

入社2年目頃に、東海原子力発電所で目にしたメインタービンの迫力が忘れられません。180トンあり、普段扱っていたタービンの10倍もの大きさでした。当時はボルト磨きばかりしていたため、「いつかはこういう大きなタービンのメンテナンスをしてみたい」と密かに思ったものです。

それから十数年経ち、はじめて大きなメインタービンを分解したのが、同じ東海原子力発電所でした。そのときは親会社と一緒に現場に入っており、吉田工業のみでこの規模の仕事ができるようになったのはさらに10年ほど経ってからです。原町火力発電所で作業責任者を務めたときは「うちもやっとこのくらいのタービンをいじれるようになったな」と感慨深い思いでした。

## 仕事をやる上で 気をつけている ことは何ですか。

皆が楽しく取り組めるように心がけています。この仕事は工程がいくつもあり覚えるまでが大変。作業中にも注意すべきことが多く、厳しい世界だと感じていますが、だからといって難しくとらえてしまえば、働くのが嫌になるだけ。そのため、いつも冗談を交えながら作業をするようにしています。仕事を楽しめるようになれば、主体性を持って動けるようになり、さらに面白くなると考えています。

入社したばかりの社員にはまず現場を楽しんで会社に馴染ん



でもらっていますが、中堅になるとプレッシャーも大きくなり、楽しみを忘れてしまう傾向があるようです。そういうときには、私たちがスキルアップのサポートをし、仕事の面白さを思い出す手伝いをしたいと思っています。

## 社員に対する期待を お聞かせください。

失敗をして叱られても、それをバネに頑張れるハングリー精神を持ってほしいと思います。この業界は身につけなければならぬ技術がたくさんあり、負けず嫌いでなければついていきません。私も若い頃は先輩に叱られると「いつか仕事で見返してやる」と思ったものです。

当時は、見て覚える時代でしたが、今は後輩たちに細かく丁寧に指導をするようにしています。かつて「10年やって一人前」といわれたこともあります。きちんと教えれば5年もせずに独り立ちできますから。ただ、近年はお客様のニーズで工程の短縮が進んでいるところ、教育に時間を割け

ないという悩みもあります。できる限りのバックアップはします。社員の皆さんも技量を高める努力を続けていってください。

## 今後の目標をお願い します。

働く環境を整えながら、会社を維持しつつさらに進化させていきたいと思っています。吉田工業はここ十数年で急成長したため、制度面でまだ不十分な面が残っているのが現状。社長と意見を出し合いながら整備を進めています。また、今後の発展のため、新人の獲得も大きな課題の1つです。

社内での責任が重くなるにつれ、「社員とその家庭を守らなければ」という思いが強まってきました。そのためにも、次の仕事をもらえるような働きをし、会社を大きくしていく。そんな使命を感じています。

メンテナンスが終わり、機械が再稼働するときには今も「もと通りに動くだろうかとドキドキする」という秋山さん。経験を重ね

ても、変わらぬ緊張感を持ち現場で業務にあたっています。これからも、誰よりも高いプロ意識を持ち、会社のために力を尽くしていくことでしょう。



## 企業情報

設立年：1987年5月12日

年商：21億円

※2022年3月時点



Q1. 秋山さんを一言で表すと?

頼りになる上司

Q2. 秋山さんの「すごいところ」を教えてください!

バランスの悪い吊物であっても、他の人がダメだった吊物をすんなり吊り上げてしまうところです。

Q3. 思い出エピソードを教えてください!

私は重機部で天井クレーンのオペレーターをしています。約15年前に秋山さんと一緒に仕事をしたことがあります。当時の私は初心者でクレーンの経験があまりなく、不安だったのですが、他社である私に無線で「絶対慌てさせないから」と言ってくださって安心してクレーンを操作できたことを覚えています。



重機部  
い がり かずひで  
猪狩 和英さん

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします!

秋山さんの紹介で吉田工業に入社できたこと、本当に感謝しています。これからもご指導よろしくお願いいたします。

秋山さん

Q1. 秋山さんを一言で表すと?

芯の通った上司

Q2. 秋山さんの「すごいところ」を教えてください!

自分の仕事に絶対的に自信を持っているところです。

Q3. 思い出エピソードを教えてください!

仕事で間違えてしまったり、知識が足りなかったりするときに的確にご指導いただきました!

工事二課

わたなべ とし お

渡邊 寿夫さん



Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします!

秋山さんのお陰で報連相の大事さ・大切さを教わりました。ありがとうございます!

Q1. 秋山さんを一言で表すと?

上司

Q2. 秋山さんの「すごいところ」を教えてください!

自分が気づけない箇所についてもすぐに気づけるところです。

Q3. 思い出エピソードを教えてください!

相馬火力の現場で少しだけ一緒だったのですが、色々仕事教えてもらったことがあります。

建設工事部

さとう ようじ

佐藤 洋二さん



Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします!

自分の母親のことで色々相談に乗ってもらい、感謝しています。

今号の巻頭インタビューを飾った秋山さん。秋山さんをよく知る3名から、もっと知りたい秋山さんの魅力を伺いました!

もっと知りたい秋山さん?!

The “POWER” of the field.

# 現場のちから

暗くて狭い、発電ボイラー内での高所作業。酸欠の危険もはらむ現場では、どのようなことに注意して作業を進めているのでしょうか？リーダーを務める村山さんにお話を伺いました。

## 現場の概要

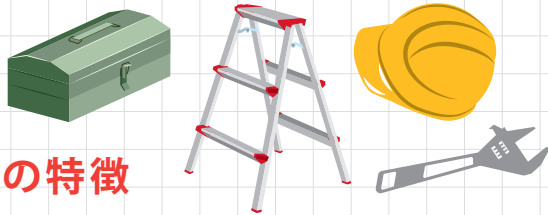
### バイオマス発電所ボイラーの定期検査

現場名称：エア・ウォーター&エネルギア・パワー  
小名浜定期検査工事

住 所：福島県いわき市小名浜

工事期間：2023年2月1日～2023年2月28日

小名浜港の産業道路にほど近い小名浜バイオマス発電所の定期検査工事です。他業者も含めた12名以上で発電ボイラーの点検作業にあたっており、吉田工業からは、リーダーの私を含めた5名が現場に入っています。



## 現場の特徴

一つひとつのボイラーの大きさは、一般的な火力発電所で使われているものと比較して半分～3分の1程度ですが、それでも約40mの高所作業が発生します。また、ボイラーの中は、暗くて狭いうえに酸素も薄いという、危険な環境です。照明の確保や安全設備の確認をしつつ、既存の設備の損傷にも気をつけなければなりません。

今回点検する機器の周りには点検対象外の機器もあります。そのため、取り違えが起こらないように養生し、検査のための磨きの際には位置や寸法の間違いないように注意しています。

## 作業環境の確保と安全対策

狭いところに入って照明を取り付けたり、人や物の落下対策をしたりといった、作業環境の確保に苦労しました。

工具や取り外した部品の落下防止対策としては、落下防止用の紐を付けることや、専用の袋に入れて移動させることなどを徹底。万が一落下してしまったときのために養生しておくことも含め、危険な事態に先駆けた行動を心がけました。

工事部

むら やま あきら  
村山 晃さん



## 皆さんへメッセージ

どの現場でも、思わぬトラブルは付きものです。都度立ち止まって、一つひとつ確認しながら皆で安全に作業を進め、工期を全うしましょう。それが、会社のイメージを守ることにつながるはずです。

## 業務を遂行する上で 気をつけていること

### 業者間での連携を強化

他業者との連携にも気を遣いました。酸欠の危険を伴う場所では特に、ここで誰が作業しているかを明確化するようにしています。もちろん表示札で分かるようにはなっていますが、それを忘れてしまうことも考え、口頭でも伝えます。

また、スペースに限りがあるので、一度に大勢で作業することは不可能です。同一の場所で作業が複雑してしまう場合は、先に入っている業者の作業を優先して私たちは時間をずらすなど、連絡を取り合いながら調整しています。



# 社員が語る！ 仕事への思い

今回は正木さんと鈴木さんに仕事への熱い思いと皆さんへの感謝の気持ちを語っていただきました！日頃のやりがいや成長したと思うところなど、皆さんも振り返ってみてはいかがでしょうか？

## 入社前と比べて もっとも成長したと思うこと

仕事に向き合う姿勢です。以前の私は「黒は黒」という頑固な人間でした。しかし、社長に相談する度に柔軟な考えを諭していただき、広い観点で物事を見ることに繋がりました。今は、社長と共に柔軟な姿勢で会社づくりをしていきたいと思っています。

## ズバリ、一番お世話になった先輩は!?

いしい ひろし

復興部長の石井 博さん  
入社きっかけは石井さんの紹介です。石井さんに紹介いただければ、今の会社と社長には出会えませんでした。私の頼れる上司であり、よき相談役となってくれていて、とても助かります。

## これまでで大変だった、 印象的な現場

平成30年から携わった数百億円規模のとても大きな工事です。私は元請け会社で派遣社員として働き、現場管理を行いながら業務を遂行しました。大企業の信用を得るまたとない機会と、重圧に耐えながら業務にあたり、弊社の皆さんと様々な苦難を乗り越え、無事無災害で完遂しました。

## 今後への意気込みを お願いします！

今は3月完成予定の新社屋の建設中ですが、入社当時の小さな社屋を思うと、言葉では言い表せない気持ちになります。これからも、成長していく会社に貢献したいと思います！

YUMA MASAKI  
復興部 部長補佐  
まさ き ゆう ま  
正木 雄馬さん

2018年  
7月1日  
入社



## 入社前と比べて もっとも成長したと思うこと

1人で現場を任せてもらえる機会が増えてきたことです。具体的には、空間線量の測定から報告までの一連の作業を行えるようになりました。これまでは先輩に聞きながらしていた作業も、流れが掴めるようになってきたと思います。

## 入社してからこれまで、 考え方やモチベーションの変化

仕事に対しては、その場だけのことでなく、次の作業を予見して、事前に対応を考えられるようになりました。

## ズバリ、一番お世話になった先輩は!?

やないりょうこ

職長の柳内 涼子さん

質問にはいつもしっかり答えてくれるので感謝しています。また、人員配置が的確なところは素晴らしいと思っています。責任感が強くて発言は厳しいけれど、優しい方です。

## 今後への意気込みを お願いします！

1日1つでもいいので仕事を覚えて、少しでも早く上の立場になれるよう頑張ります。そして、与えられた仕事をこなして、先輩ができたらしっかり教えられるようになっていきたいと思っています。

復興部  
すず き ま お  
鈴木 慎生さん

2022年  
6月1日  
入社



# うちの 新しい仲間を 紹介します!

2022年の秋冬に入社した重機部の佐藤さんと小野寺さんを紹介します! 経験は十分、即戦力として期待の持てるお二人です。会ったらぜひ「社内報で見たよ!」と声をかけてみてはいかがでしょうか♪

佐藤さんに質問!  
お仕事編!



重機部  
さとうじゅん  
佐藤 純さん

誕生日 1969年8月23日  
出身 宮城県村田町  
入社日 2022年12月

面接の際、事務所の雰囲気も良く、皆さんの挨拶も明るくてとても好印象を抱きました。入社後もみなさん丁寧に教えてくださるので、大変助かっています!

もっと聞いちゃえ!  
プライベート編!

Q. 趣味を  
教えてください!

キャンプです。15年ほど前から始め、もう200回は行きました。最近はソロキャンプが多く、仙台なら神割崎がオススメです!

Q. 前職は?

長年重機オペレーターの仕事に従事してきました。その経験を活かし、吉田工業に貢献していければと考えています。

Q. 現在の業務内容は?

現在さまざまに手続き中のため、倉庫の片付けなど皆さんの仕事のサポートをしています。手続きが終わり次第、現場で解体作業をする予定です。

Q. 今後の目標

事故も怪我もなく、安全第一で作業に取り組みたいと思います。

## Message

まだほとんどの方にお会いできていません。初めてお会いした際には、どうぞよろしくお願ひいたします。

Q. 私ってこんな人!

「楽しいことが好き!」

旅先で出会った人と、ご飯を食べたり話し込んだりして、一緒に過ごすことが最高の楽しみです。

Q. 前職は?

小野寺さんに質問!  
お仕事編!

同じ土木関連の仕事です。大熊町の解体作業の際、運搬に必要なタグ付けなどを吉田工業お願ひし、密に連携しながら仕事をしたことがあります。

Q. 現在の業務内容は?

バックホーに乗って、道のないところに道を作る仕事をしています。

Q. 今後の目標

やり直しにならないよう、一つひとつの仕事を丁寧に確認しつつ、全体的には効率よく仕事を進めていきたいと考えています。

誕生日 1980年11月20日  
出身 岩手県久慈市  
入社日 2022年10月1日

復興部の大内さんと5年ほど前に知り合い、「いい会社だから来てみなよ」とラブコールを受けていました。温かみがあり人を大切にする社長の人柄に惹かれました。面接時に「この日から雇うよ」と、すぐに答えてくれたのもありがたく思いました。

趣味を  
教えてください!

もっと聞いちゃえ!  
プライベート編!

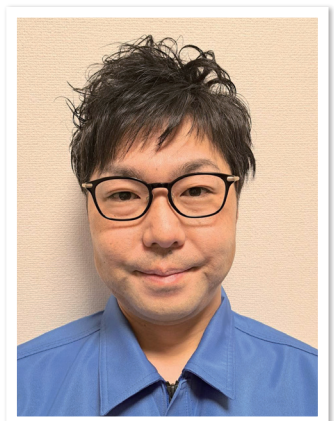
Q. ください!

ゴルフとビリヤードです。どちらも歴は10年以上ですが、最近はゴルフばかりです。

Q. 私ってこんな人!

「スペシャルにのんびり屋」

若い頃は慌てて仕事をして、やり直しになったことも多々ありました。経験を積むうちに、一つひとつを確実に終わらせていくスタイルに変化しました。



重機部  
おの でら やすひと  
小野寺 康仁さん

## Message

吉田工業は機械関係の仕事が強い会社だと感じています。培ってきた畑は違いますが、一緒に会社を盛り上げていきたいと考えています。

